

# あきたけ



秋竹小学校 学校だより  
令和8年6月8日号

## 運動会 ～子どもたちも、家庭も地域も、先生も、みんながんばりました！～

秋竹小学校の運動会は5月に開催しています。地区によっては、秋に開催するということころもあるかと思いますが、秋竹小学校の運動会は、秋竹小伝統の「なかま班」が中心になって年度当初に行われます。徒競走は学年別で行うのですが、ほとんどの時間をこの「なかま班」で過ごします。4月に入学したばかりの一年生にとっても、このなかま班は「なかま作り」にとってもよい効果を出していました。自然と、高学年が低学年をいたわり、低学年は高学年を頼る、という関係性ができていました。控え席や開閉会式の整列も「なかま班」ですので、子どもたちは自然と「認め合い」の関係性が芽生えていると思いました。



**これが年度当初に行われるからこそ、秋竹小のなかまが育っていくのだと感じました。**

前日(当日の夜半過ぎ)まで雨が降り、当日朝のグラウンド状態はよくありませんでした。しかしながら、本校の教職員が力を合わせて水気を取り整地をして、また知恵を絞って「30分遅れの開始・競技順変更」を考え、9時30分には奇跡的なグラウンド回復ができ、無事開催することができました。

当日は、たくさんの保護者の皆様、地域の方々のご声援をいただき、子どもたちは練習の成果を発揮していました。どの子も輝いていたと思います。子どもたちを励まし、支え、見守っていただいていたことに厚く感謝申し上げます。また、当日運動会後のテント等の片づけに、たくさんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

子どもたちも、家庭も地域も、先生も、みんなががんばった運動会でした。

## 田植え体験 ～地域に学び、地域で育つ～

5月29日(金)地元JA あいち海部の方々にご協力いただき、学校のすぐ東にある田の一部をお借りして、5、6年生対象に「田植え体験」をさせていただきました。6年生は慣れた手つきで手際よく、5年生は初めての体験で、はじめは戸惑いながらも一生懸命に、田植えをしていました。



このような体験はなかなかできるものではなく、「リアルを知る」というところからの学びは大変大きいと思います。秋には、しっかりと実った稲穂が見られることを今から楽しみにしています。今回は、まさに「地域とともにある学校」であったと思います。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

## 「やさしさは勇気」 ～やなせたかし氏のことばから～

運動会を目前に控えた5月18日(月)の朝礼で、つぎのような話をしました。

「アンパンマンで有名な、やなせたかしさんはこんな言葉を残しています。「やさしさは、勇気なんだよ。」アンパンマンが困っている人を助けるのは、ただ強いからではありません。やさしい気もちを持つ“勇気”があるからです。

運動会は“力”だけでなく“心”で頑張る日です。運動会は、走る速さや力の強さだけで勝つわけではありません。「なかまの言葉」で、なかまの力を引き出す日でもあります。みんなのやさしい言葉が、なかまの力になります。そして、その力が、運動会を最高の一日にしていきます。」

秋竹小学校が、やさしい言葉であふれる学校になってほしいと願っています。